

様式第4号・その1（第7条関係）

平成 30 年 4 月 20 日

伊万里市議会議長 前田 久年 様

氏名 香月 孝夫

平成29年度伊万里市政務活動費収支報告について

伊万里市政務活動費の交付に関する条例第5条第1項により、別紙のとおり平成29年度政務活動費収支報告書を提出します。

様式第4号・その2（第7条関係）

平成29年度政務活動費収支報告書

議員名 香月 孝夫

1 収入 政務活動費 250,000 円

2 支出

項目	金額(円)	備考
研究研修費	60,380	第12回全国市議会議員会研究フォーラム
調査旅費	139,370	※ ①京丹後市/京都市 ②姫路/神戸 ③久米町/那覇市
資料作成費		
資料購入費		
広報費		
広聴費		
人件費		
事務所費		
その他の経費	33,000	
合計	232,750	

3 残額 17,250 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

様式第5号・その1 (第7条関係)

(1調査1枚作成)

研 究 研 修 費

(支出明細書)

研 修 内 容 又 は 目 的	① 災害時の要援護者への支援に関する条例 ② 第12回全国市議会議長会研究フォーラム		
研 修 年 月 日	平成 29 年 11 月 14 日 ～ 11 月 16 日	宿泊の有無	① 有 ② 無
研 修 場 所	① 兵庫県神戸市役所 ② 姫路市文化センター(兵庫県姫路市)		
経 費 明 細 書			
会 場 費			
講 師 謝 礼			
出 席 者 負 担 金			
会 費			
旅 費	60,380円		
宿 泊 費			
そ の 他 経 費			
合 計	60,380円		

政務活動費 旅費計算書

旅行者 (12)香月孝夫議員 (13)副島明議員

期 間 平成29年11月14日～11月16日(2泊3日)

行き先 ①兵庫県神戸市役所 ②姫路市文化センター(兵庫県姫路市)

内 容 ①災害時の要援護者への支援に関する条例
②第12回全国市議会議長会研究フォーラム

備 考

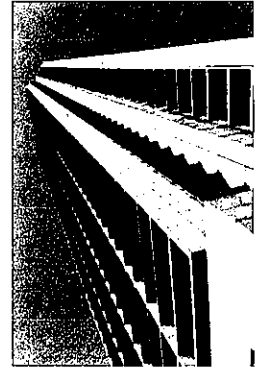
(単位：円)

項 目	金 額	摘 要
運 賃	15,360	伊万里～三宮(片道)
	970	三宮～姫路(片道)
	15,450	姫路～伊万里(片道)
宿泊料	26,200	13,100円×2泊
交通費	2,400	800円×3日
計	60,380	

※旅費計算につきましては、伊万里市職員等の旅費に関する条例に基づき、最も経済的な経路及び方法により算出することとなっておりますので、申し出があった経路とは異なる場合があります。

《調査報告書》

- 【報告者】 香月孝夫
- 【調査年月日】 平成 29 年 11 月 14 日～11 月 16 日
- 【調査地】 ①兵庫県神戸市役所
②姫路市文化センター(兵庫県姫路市)
- 【調査目的】 ①災害時の要援護者への支援に関する条例
②第 12 回全国市議会議長会研究フォーラム



※神戸市役所

① 災害時の要援護者への支援に関する条例 —神戸市—

《 規模・概要 》 予算 7,785 億円（平成 30 年度一般会計当初）

人口 1,529,803 人(H30-03) 世帯数 714,266 世帯(H30-03) 面積 552.3 平方キロメートル

・阪神淡路大震災 → 1995 年 1 月 17 日、気象庁で初めて最大震度 7 が記録された地震。

※当時、自身も東灘区で就寝中に被災（震度 7）した経験を持つ。

《 取組み 》

○制定経緯 → 議員提案（民主党、自民党、自民党神戸、無所属 1）により、平成 24 年 11 月に議会上程され、全会一致で可決し成立となった。平成 25 年 4 月 1 日に施行された。

○条例の概要 → (1) 災害時要援護者の定義（第 2 条）

(2) 要援護者支援団体（第 2 条）

(3) 市の責務、要援護者支援団体・事業者・要援護者の役割

(4) 要援護者に係る情報の収集及び提供（第 7 条）

(5) 要援護者への支援計画の策定（第 14 条）

(6) 避難所・福祉避難所における支援（第 15 条～19 条）

(7) 施行細目の委任（第 20 条）

○背 景 → 阪神淡路大震災では、自力で脱出できなかった方の多く（8 割）が家族や近隣住民の方によって救出された ⇒ 公助の限界・共助の必要性

東日本大震災では、犠牲者のうち高齢者の割合が 6 割を占める。

⇒ 要援護者情報の事前把握の課題

○特 徴 → (1) 要支援者に対する支援を全般的に規定

(2) 要援護者の個人情報支援団体に提供する場合の手続きを規定

(3) 不同意の意思表示のない要援護者は同意したと推定する「みなし同意」を規定

・万一、本市で大規模災害が発生した場合、現状では個人情報の壁に突き当たる可能性がある。

まとめ：上記条例について、本市においても早急な対応を検討し、不測の事態を想定した取組みを早急に進めて行かなければならないと強く感じた。



② 第12回全国市議会議長会研究フォーラム（姫路市）

《基調講演（15日）》

- 「議会改革の実績と議会力の向上・政策創造の立法部を考える」
・中邨 章（明治大学名誉教授）

所感：議会改革の成果、人口減少、防災、そしてエストニアの話を中心に進められました。

2006年の栗山町議会の基本条例制定後の成果について、2011年には881市のうち158市が条例の制定が行われた。そのことによって変化した点、以前は、新規条例を作っているのは、全国平均で1.7件、また改正は2件程度であったのが、最近2年間の成果では、71市で104件の新しい条例の提案がなされ、非常に注目すべき点となった。このことは、本市においても着実に進みつつあり、その方向性を確認する機会となった。

エストニアにおける電子政府については、マイナンバーを有効に活用し自宅投票が行われている点が非常に興味深く、また今後も関心を寄せると共に、調査研究の必要性を感じた。

《パネルディスカッション（15日）》

- 「議会改革をどう進めて行くか」
 - ・コーディネーター 人羅 格 氏（毎日新聞論説副委員長）
 - ・パネリスト
 - 大山 礼子 氏（駒澤大学法学部教授）
 - 金井 利之 氏（東京大学大学院法学政治学研究科教授）
 - 新川 達郎 氏（同志社大学大学院総合政策科学研究科・政策学部教授）
 - 川西 忠信 氏（姫路市議会議長）

所感：条例制定の話に始まり、選挙制度の在り方、また報酬などについてディスカッションが2時間にわたり行われた。本市でも良く耳にする「議員は何をやっているのかが見えてこないなど」といった点が主でありました。やはりその解決策として、皆さんの活動をもう一步見えやすく、また住民に近づいていく努力が必要であり大切な事であると、聴衆者集一同が納得した感があり意義ある内容であった。

《課題討議（16日）》

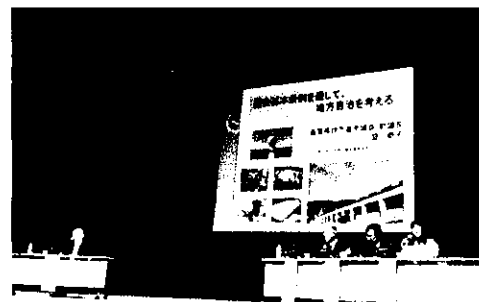
○「議会基本条例のこれまでとこれからを考える」

- ・コーディネーター 新川達郎氏
- ・事例報告者
 - 会津若松市議会議長 日黒章三郎氏
 - 四日市市議会議長 豊田政典氏
 - 伊万里市議会前議長 盛 泰子氏
- ・議会基本条例の制定、運用などについての報告が行われました。

所感：全国の市議会の約6割で議会基本条例が制定運用されている現在において、制定をすることが目的にならないように、しっかりとした運用を図って行かなければならない。そのためには、再度目的を明確にしながら進めて行くことが肝要である。その点、伊万里市議会では後発ながら進められていると改めて感じると共に、更なる改革に向けた大きなヒントを得た。



※3会場に分けて開かれたフォーラム（各会場モニターでリンク）



調 査 旅 費

（支出明細書）

調 査 目 的	① 地方創生の取り組みについて ② EV乗り合いタクシー・ささえあい交通について ③ 京都市鳥獣被害防止計画について
調 査 地	①豊岡市役所(8/2) ②京丹後市役所(8/3) ③京都市役所(8/4)
調 査 年 月 日	平成 29年 8月 2日 ～ 平成 29年 8月 4日 （ 宿泊の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ）
調 査 結 果	別紙のとおり
経 費 明 細 書	
旅 費	66,590円
そ の 他	2,000円
合 計	68,590円

政務活動費 旅費計算書

旅行者 (3)岩崎義弥 (9)前田敏彦 (12)香月孝夫 (13)副島明 (19)多久島繁
(20)草野譲 (17)松尾雅宏 (21)渡邊英洋

期 間 平成29年8月2日～8月4日 (2泊3日)

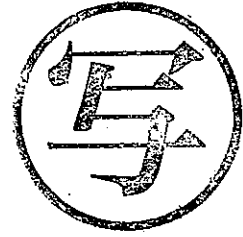
行き先 ①豊岡市役所(8/2) ②京丹後市役所(8/3) ③京都市役所(8/4)

内 容 ①地方創生の取り組みについて
②EV乗り合いタクシー・ささえあい交通について
③京都市鳥獣被害防止計画について

(単位：円)

項 目	金 額	摘 要
運 賃	15,950	伊万里～豊岡(片道)
	770	豊岡～峰山(片道)
	4,550	峰山～京都(片道)
	16,220	京都～伊万里(片道)
宿泊費	26,200	13,100円×2泊
交通費	2,900	800円×2日、1300円×1日 (京都)
計	66,590	

※旅費計算につきましては、伊万里市職員等の旅費に関する条例に基づき、最も経済的な経路及び方法により算出することとなっておりますので、申し出があった経路とは異なる場合があります。



領 収 書

佐賀県伊万里市議会
伊想会 様

金 16,000 円也

但し 8/3 『ささえ合い交通』の視察資料代として
(内訳 2,000 円 × 8 人)

上記の金額確かに受領致しました

平成 29 年 8 月 3 日

NPO法人 気張る! ふるさと丹後町

・領収書の原本は、松尾雅宏議員（会派:伊想会代表）の収支報告書に添付

伊想会参加者 8 人

(岩崎義弥・前田敏彦・香月孝夫・副島 明・多久島 繁・草野 謙・松尾雅宏・渡邊英洋)

《調査報告書》

- 【報告者】 香月孝夫
 【調査年月日】 平成 29 年 8 月 2 日～8 月 4 日
 【調査地】 ①豊岡市役所(8/2)
 ②京丹後市役所(8/3)
 ③京都市役所(8/4)



- 【調査目的】 ①地方創生の取り組みについて
 ②EV 乗り合いタクシー・ささえあい交通について
 ③京都市鳥獣被害防止計画について

① 地方創生の取り組みについて -豊岡市-

《 まちの将来像 》コウノトリ悠然と舞う ふるさと
 ・「飛んでるローカル豊岡」 ～コウノトリの飛ぶまち豊岡市～

《 規模・概要 》 当初予算 801 億 3724 万円 (平成 30 年度当初)

人口 82,250 人 世帯数 30,189 世帯 人口密度 117.9 人/平方キロメートル

高齢化率 31.6% (平成 27 年) 面積 697.55 平方キロメートル

市域の 8 割が森林であるが、各種国定公園などがあり四季を織りなす。

《 取組み 》

平成 17 年 9 月、国指定の特別天然記念物のコウノトリが自然放鳥、人里で野生復帰を目指すこれまでに例がない取組みが行われている。(※1)

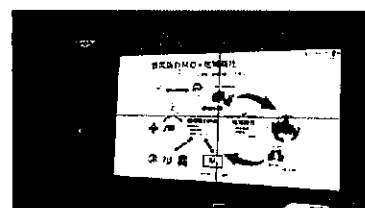
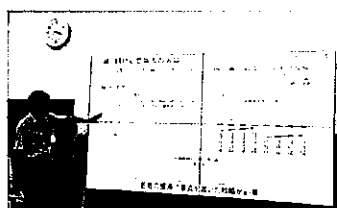


※1

徹底した現状分析 (人口減少) が行われ、それに基づき施策が講じられ推進中であり、地域資源を有効に生かす中で、当然であるが最新の情報化技術 (分析・発信) が用いられている。

- ・★「DMO」D：デスティネーション (観光の目的地・地域)
- M：マーケティング (企業の市場分析) or マネジメント (管理)
- O：オーガニゼーション (組織)

※商社や金融のプロなどが執行役員、併せて市と連携推進。



観光に着目し、まちづくりを推進する組織を構築。→交流人口拡大や移住推進。

補助制度：空き家改修補助、田舎暮らし体験施設、移住促進住宅、お試し居住制度などあり。

《 各種施策 》

- ・近畿最古の芝居小屋を復活させ歌舞伎を町の顔に（※2）
- ・日本一のカバンを世界一に向けて「鞆の学校」を創設（※3）
- ・コウノトリの野生復帰を実現し新しい農法を拡大（※4）
- ・世界中からアーティストを招聘し温泉街をパフォーマンスアーズへ（※5）
- ・公立の小学校で最先端のコミュニケーション教育を実践 など（※6）

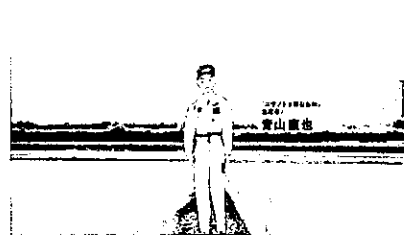
インバウンド 2,000人→40,000人 急拡大中 （平成18年度）



※2 復活した芝居小屋



※3 鞆の学校



※4 新農法の推進



※5 パフォーマンスアーズ



※6 コミュニケーション教育

視察先視聴動画 ①②③④⑤⑥（※1～※6）

まとめ：市全体をトータルコーディネートする必要性を強く感じた。本市においても類似する提案（情報化技術やDMOの推進）がなされてきているようだが反応は鈍い。今回学んだことを活かすべくまずは、情報プラットフォームの構築を強く働きかけていきたい。理解をより深めやすくするため視察先で視聴した画像を添付した。

② EV 乗り合いタクシー・ささえあい交通について -京丹後市-

《 まちの将来像 》 喜びの「まほろば」づくり ～新・丹後王国の創造に向けて～

《 規模・概要 平成 27 年調査 》 当初予算 650 億 8,985 万円（平成 30 年度当初）

人口 62,723 人 世帯数 22,692 世帯 人口密度 124.98 人/平方キロメートル

高齢化率 35.30%%（平成 27 年） 面積 501.43 平方キロメートル

・丹後ちりめんの生産などで有名、近年は機械金属工業・観光産業がまちの発展を担いつつある。

《 取組み：a 》

- ・EV 乗合タクシー：停留所のない乗合タクシー
- ・背景：過疎化が進み（久美浜町・網野町）地域交通機関がなくなったため、「公共交通空白地有償運送」（通称：ささえあい交通）がスタートした。
- ・ポイント→デマンドバスは予約が必要だが、Uber（ウーバー）システムを採用によって、その必要がなくなった。

※ITC を活用し配車依頼を行う。（スマートフォンなどのアプリを活用）

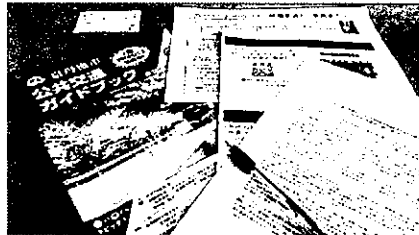
※「ささえあい交通」概要

運行日 : 年中無休（毎日）

運行時間 : 8:00 ～ 22:00

運賃 : 最初の 1.5 km まで 480 円、以遠は 120 円/km 加算

対象者 : 地域住民の方、観光客など



※スマホやタブレットを使い配車依頼

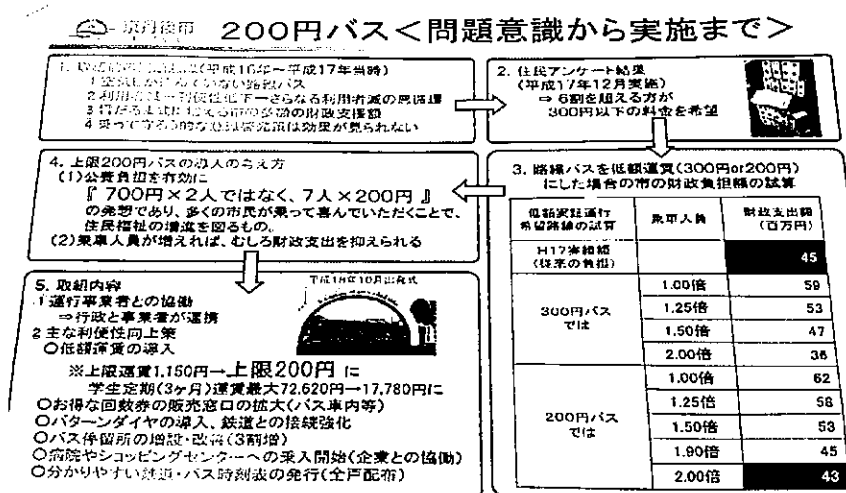


◀ 取組み：b ▶

・空気を載せて走らせる位なら・・・公共バスでは、「上限 200 円運賃」の実施が行われた。最大 1,150 円の運賃が 200 円で乗車できるわけである。結果半年間で 1.4 倍(46,082 人か→65,967 人)へと大幅な増加。高校生の利用が急増した。

※当初、行政から提案があった折にバス会社は「会社をつぶしたいのかと猛反発」根気強く説得の末に実施にこぎつけた。乗車人員が増えることによって「運転手のやりがい」に繋がるなど予想外の効果も生まれている。

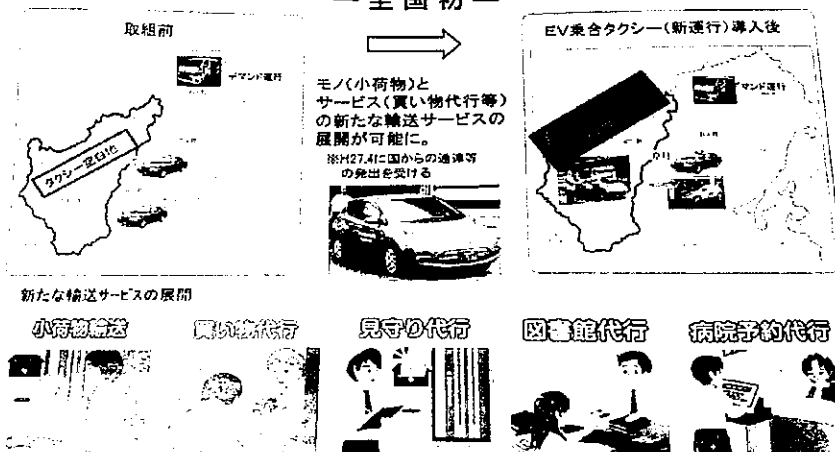
まとめ：本市においても既成の概念にとらわれることなく積極的な調査研究をすすめ、効果が見込める取組みを検討すべきであり、また京丹後市のこの取組みは追跡調査の必要性がある。



※「700 円×2 人ではなく、7 人×200 円」この発想が今後重要である。(配布資料より)

「地方創生型 EV 乗合タクシー」スタート (H27.10~)

— 全国初 —



※本市も人を載せるだけでなくその他のサービスとの併用も考えていくべきである。

(配布資料より)

③ 京都市鳥獣被害防止計画について -京都市-

《 被害状況 》

本市とは被害状況が若干異なっていた。京都付近は「ニホンジカとサル」の被害が大きく、3番目が「イノシシ」となってる。

・被害総額 → 91,415 千円（林業、水産物含む） ※伊万里市→33,970 千円

《 取組み 》

捕獲の担い手が減少中でありその対策に苦慮。そのため、「囲いわな自動捕獲装置」の導入がなされている。（センサーに反応して入口が閉まる仕掛け。電源は太陽光パネルを活用）

・捕獲実績（いのしし） → 総数 419 頭 ※伊万里市→4,523 頭（H28 年）

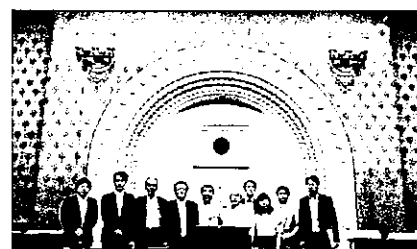
まとめ：利活用可能なイノシシ捕獲方法などを学びに行ったが、イノシシに関しては本市の方が捕獲実績が多く逆に担当者も驚かれた状況にあった。しかし、捕獲における ITC の利活用も捕獲者の減少に合わせて考えていく必要性を感じた。

（7） 囲いわな、自動捕獲装置の導入（平成26年度～平成27年度24基）



（左） 囲いわな、（右） 自動捕獲装置

※配布資料より



※京都市議会議場

調 査 旅 費

（支出明細書）

調 査 目 的	① 海洋温度差発電実証調査について ② 議会改革・活性化について
調 査 地	① 沖縄県久米島町役場 ② 沖縄県那覇市議会
調 査 年 月 日	平成 30年 1月 30日 ～ 平成 30年 2月 1日 (宿泊の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)
調 査 結 果	別紙のとおり
経 費 明 細 書	
旅 費	70,780円
そ の 他	
合 計	70,780円

政務活動費 旅費計算書

旅行者 (9)前田敏彦議員 (12)香月孝夫議員 (17)松尾雅宏議員 (13)副島明議員
(20)草野讓議員 (19)多久島繁議員 (21)渡邊英洋議員

期 間 平成30年1月30日～2月1日(2泊3日)

行き先 ①沖縄県久米島町役場 ②沖縄県那覇市議会

内 容 ①海洋温度差発電 実証調査について ②議会改革・活性化について

※網掛けは、領収書添付

(単位：円)

項 目	金 額	摘 要
運 賃	3,600	伊万里～福岡空港(往復)
	13,340	福岡空港～那覇空港(片道)
	7,840	那覇空港～久米島空港(片道)
	500	空港～役場仲里庁舎前(バス・往復)【久米島町】
	7,840	久米島空港～那覇空港(片道)
	520	那覇空港～県庁前(往復)【那覇市】
	10,140	那覇空港～福岡空港(片道)
宿泊代	26,200	13,100円×ホテル2泊
交通費	800	800円×1日(町は支給なし)
計	70,780	

※旅費計算につきましては、伊万里市職員等の旅費に関する条例に基づき、最も経済的な経路及び方法により算出することとなっておりますので、申し出があった経路とは異なる場合があります。

領収証

№ 014106

香月孝夫様

30年2月2日

金額			4	千			円
			3		9	1	60

現金	
小切手	
振込	

上記の金額正に領収致しました
但し 航空券代金として

印紙
5万~100万以下
200
100万~200万以下
400
200万~300万以下
600

あなたの一番を目指して

株式会社 西九州ツイン

本社 佐賀県佐賀市東新天町718-1
 TEL: 0955-25-9001 FAX: 0955-25-9001
 松浦旅行 長崎県松浦町里免384-1
 サービス支店 TEL: 0956-72-3377 FAX: 0956-72-5570

担当者印



《調査報告書》

- 【報告者】 香月孝夫
 【調査年月日】 平成30年1月30日～2月1日
 【調査地】 ①沖縄県久米島町役場
 ②沖縄県那覇市議会
 【調査目的】 ①海洋温度差発電 実証調査について
 ②議会改革・活性化について



※施設プラント前にて

① 海洋温度差発電 実証調査について -久米島町-

《 視察経緯 》

- ・伊万里市、久米島町及び佐賀大学の3者による海洋温度差発電（OTEC）と地域交流にかかる連携協定締結がある。

平成30年1月25日にまずは伊万里市内にある「佐賀大学エネルギー研究センター伊万里サテライト」を事前視察。その後、久米島町の現地において現状視察を行った。

○協定名称：「海洋温度差発電の研究開発及び利活用並びに
 地域交流の推進に関する連携協定」

○締結日：平成28年7月14日

《 規模・概要 》 当初予算 72億1,679万円（平成29年度）

人口 7,845人 世帯数 3,935世帯 面積 63.65平方キロメートル

- ・久米島町 → 平成14年4月1日、2つの村が合併（具志川村、仲里村）。年間を通して温暖な気候ではあるが台風の常襲地帯でもある。農業を基軸とした産業構造は農業が中心であるが経営の複合化が進む。また、最近で豊かな海を活かしは栽培漁業など育てる漁業に力が注がれている。

《 取組み 》

- ・海洋温度差発電 → 表層海水（暖）と深層海水（冷）との温度差を利用した発電。
- ・久米島の海洋温度差発電の出力は100キロワット級で、世界唯一の実証設備である。今後は1メガワット級の設備への変更が計画されている。また久米島全体の電力需要は6メガワット程であるため、島内全体の電力需要を賄うことが目指されている。
- ・海水利用 → 深層からくみ上げられた海水は、発電利用以外への利用が行われている点もポイントであった。低温で雑菌が少くミネラル分の豊富な点から「海ぶどうやクルマエビ」の要職に役立てられている。その結果、海洋深層水関連産業で年間20億円超の売上高となっている。
- ・視察団 → これまでに世界約180ヶ国から視察団が訪れている。そのため「海洋深層水の島」という新たなイメージが定着してきている。

まとめ：伊万里市の設備については研究施設ということもあり発電出力は極小であるが、関連する事業については、今後更に調査研究をすすめその可能性を探る必要があると感じた。



※久米島町長より島内説明を受ける



※活発な質疑応答



※発電プラント視察



※「海ぶどう」養殖場視察

② 議会改革・活性化について -那覇市-

《 規模・概要 平成 27 年調査 》 当初予算 2319 億 0150 万円（平成 30 年度当初）
人口 323,217 人 世帯数 150,778 世帯 面積 39.24 平方キロメートル

《 那覇市議会 概要 》

○議員定数 → 40 名（7 会派）

○常任委員会 → 5 委員会

- ・ 予算決算特別委員会 定数 40 人（任期無）
- ・ 総務常任委員会 定数 10 人（任期 2 年）
- ・ 建設常任委員会 定数 10 人（任期 2 年）
- ・ 教育福祉常任委員会 定数 10 人（任期 2 年）
- ・ 厚生経済常任委員会 定数 10 人（任期 2 年）
- ・ 議会運営委員会 定数 13 人（任期 2 年）

○議員報酬 → 議長 694,000 円 副議長 626,000 円 議員 586,000 円

○政務活動費 → 1 人当たり月額 90,000 円（平成 29 年度施行）

○行政視察旅費 → 議員 1 人当たり年額 203,000 円（平成 29 年度予算）

○行政視察受入状況 → 66 都市、516 名（平成 28 年度）

《 取組み 》

○那覇市議会「議会改革」※主なもの

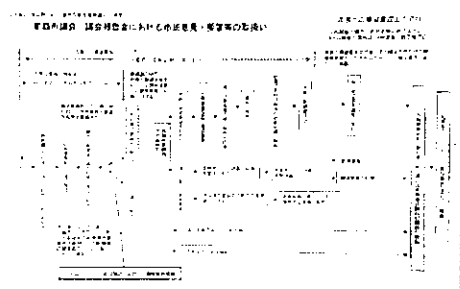
- ・平成 24 年 12 月 議会基本条例制定
 - ・平成 25 年 1 月 新庁舎（議場完成）・・・※④
 - ・平成 25 年 2 月 本会議のインターネット中継開始
 - ・平成 25 年 4 月 第 1 回議会報告会（議会基本条例について）
 - ・平成 25 年 8 月 議会改革に関する行政視察への議員による対応
 - ・平成 25 年 11 月 第 2 回議会報告会（市内 4 カ所で開催）
 - ・平成 25 年 5 月 第 3 回議会報告会（市内 4 カ所で開催）
 - ・平成 26 年 8 月 議員への議会情報メール配信の開始
 - ・平成 26 年 11 月 市民への意識調査項目の追加
 - ・平成 27 年 1 月 第 4 回議会報告会（ぶんかテンプス館で開催）
 - ・平成 27 年 2 月 「政務活動費の手引き」の制定
 - ・平成 27 年 2 月 議会傍聴アンケートの実施
 - ・平成 27 年 3 月 めんそーれ那覇市観光振興条例の制定
 - ・平成 27 年 5 月 第 5 回議会報告会（市内 4 カ所で開催）
- ・今回の視察において、議会改革の中の「議会報告会」に焦点を絞り視察を行った。全国各市町議会などでの参考事例もあるが、那覇市における取組みは、「①実施要綱、②議会報告会のすすめ方」などの完成度が高く、本市においても参考になるものが多く存在した。その中でも、議会報告会の流れをフロチャート化（※③）した資料は、本市においてもすぐに活用できるものであり役立てていきたい。非常に有用な視察先となった。（※①②）



※① 那覇市議会にて



※②



※③ 議会報告会推進フロチャート



※④ 那覇市議会議場

様式第5号・その9（第7条関係）

（年間分）

そ の 他 の 経 費

（支出明細書）

項 目	内 容	金 額 (円)
通 信 費	携帯電話料	33,000円
	インターネット関連費用	年額 円×50% = 円
	タブレット型端末通信料	
合 計		33,000円

【携帯電話料明細】

月	支出額	支出額の1/2	対象経費
4月	40,328	20,164	3,000
5月	39,309	19,654	3,000
6月	24,227	12,113	3,000
7月	27,000	13,500	3,000
8月	22,762	11,381	3,000
9月	25,948	12,974	3,000
10月	27,043	13,521	3,000
11月	25,530	12,765	3,000
12月	11,561	5,780	3,000
1月	15,839	7,919	3,000
2月	25,599	12,799	3,000
3月	0	0	0
計	285,146	142,570	33,000

備考 対象経費は、支出額の1/2とする。ただし、その額に1円未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとし、月額3,000円を限度とする。

〒848-0047
伊万里市伊万里町 甲513-5

ストリートビル2F
香月 孝夫 様



発行会社 NTTファイナンス株式会社
料金センター
お問合せ先 0800-333-0091
受付時間 9:00~20:00

〒812 福岡市博多区住吉
-0018 4-29-22 ドコモ住吉ビル

電話料金等ご利用料金証明書

電話番号等 [REDACTED] - [REDACTED] - [REDACTED]

年月分	ご利用金額	支払年月日	記 事
2017年 4月分	40,328円	2017年 5月 1日	ドコモご利用分 一括請求によるお支払
2017年 5月分	39,309円	2017年 7月 3日	ドコモご利用分 一括請求によるお支払
合計	79,637円		

- ※1 各通信サービス提供会社側でポイント充当等により、請求金額を相殺した場合、「ご請求金額なし」と表示されます。
- ※2 本書は、一括請求回線単位のご利用料金、または、クレジットカード払いによるご利用料金を記載したものであり、料金のお支払額を証明しているものではありません。
- ※3 各通信サービス提供会社名の記載がない料金は、NTTファイナンスご利用料金となります。

2018年 4月19日
NTTファイナンス株式会 [REDACTED]
〒108-0075 東京都港区港南1-2-70

〒848-0047
伊万里市伊万里町 甲513-5

ストリートビル2F
香月 孝夫 様



発行会社 NTTファイナンス株式会社
料金センター
お問合せ先 0800-333-0091
受付時間 9:00~20:00

〒812 福岡市博多区住吉
-0018 4-29-22 ドコモ住吉ビル

電話料金等 料金支払証明書

電話番号等 [REDACTED]

年月分	支払金額	支払年月日	記 事
2017年 6月分	24,227円	2017年 6月30日	ドコモご利用分
2017年 7月分	27,000円	2017年 8月30日	ドコモご利用分
2017年10月分	27,043円	2017年10月31日	ドコモご利用分
2017年11月分	25,530円	2017年12月15日	ドコモご利用分
2018年 1月分	15,839円	2018年 2月15日	ドコモご利用分
2018年 2月分	25,599円	2018年 3月30日	ドコモご利用分
合計	145,238円		

※1 各通信サービス提供会社側でポイント充当等により、請求金額を相殺した場合、「ご請求金額なし」と表示されます。
※2 各通信サービス提供会社名の記載がない料金は、NTTファイナンスご利用料金となります。

上記の料金は、収納済みであることを証明します。



2018年 4月19日
NTTファイナンス株式会社 [REDACTED]
〒108-0075 東京都港区港南1-2-70

〒848-0047
伊万里市伊万里町 甲513-5

ストリートビル2F
香月 孝夫 様



発行会社 NTTファイナンス株式会社
料金センター
お問合せ先 0800-333-0091
受付時間 9:00~20:00

〒812 福岡市博多区住吉
-0018 4-29-22 ドコモ住吉ビル

電話料金等ご利用料金証明書

電話番号等 [REDACTED] - [REDACTED] - [REDACTED]

年月分	ご利用金額	支払年月日	記 事
2017年 8月分	22,762円。	2017年10月 2日,	ドコモご利用分 クレジットカードによるお支払
2017年 9月分	25,948円。	2017年10月16日,	ドコモご利用分 クレジットカードによるお支払
2017年12月分	11,561円,	2018年 1月15日,	ドコモご利用分 クレジットカードによるお支払
合計	60,271円		

- ※1 各通信サービス提供会社側でポイント充当等により、請求金額を相殺した場合、「ご請求金額なし」と表示されます。
- ※2 本書は、一括請求回線単位のご利用料金、または、クレジットカード払いによるご利用料金を記載したものであり、料金のお支払額を証明しているものではありません。
- ※3 各通信サービス提供会社名の記載がない料金は、NTTファイナンスご利用料金となります。

2018年 4月19日
NTTファイナンス株式会 [REDACTED]
〒108-0075 東京都港区港南1-2-70